

許 可 番 号	倫-632
研 究 課 題 名	肝炎ウイルス陽性者の follow up 率と予後調査
診 療 科	消化器内科
研 究 責 任 者	村田礼人
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター/国府台病院 消化器・肝臓内科 肝疾患研修室長/第一肝疾患室医長 是永匡紹
研究の目的と方法	<p>治療の進歩により経口薬のみで肝炎ウイルスがコントロール可能となった一方で、B 型肝炎からは投薬の必要のない肝機能正常例、また C 型肝炎ウイルス排除後から肝発がん例が少なからず認められており、両者とも年 2 回以上の定期受診・腹部画像検査が必要とされる。我が国では初回精密検査費用の無料化、定期検査助成にて医療費を補助することで、肝炎ウイルス陽性者を長期間 follow up するように努めているが、医療従事者の検査助成制度の非認識、手続きの煩雑さ等で十分に利用されているとはいえない。</p> <p>また、前述の助成制度を利用すると、自治体の肝炎対策部署より年 1 回程度、受診継続有無を確認することになるが、その一方で、医療機関における肝炎ウイルス陽性者の受診状況は明らかになっていない。</p> <p>本研究では、肝臓専門医の肝炎ウイルス陽性者の follow up 率を過去の診療録をもとに明らかにすることを目的とし、通院が中断する要因、肝がんや他疾患合併に有無等を解析する</p>
利用、又は提供する 試料・情報の項目	診療記録
研 究 対 象 者	各施設の肝臓内科に 2014 年までに受診した HBs 抗原陽性かつ HBe 抗体陽性で抗ウイルス剤を使用されていない B 型肝炎患者及び 2016 年までにインターフェロンや経口抗ウイルス剤によりウイルス排除に成功した C 型肝炎患者。年令・性別・入院の有無は問わない。
研 究 対 象 期 間	西暦 2014 年 4 月 1 日から西暦 2020 年 3 月 31 日の間
利用する者の範囲	<p>多施設共同研究 研究代表機関名： 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター/国府台病院 消化器・肝臓内科 代表研究責任者： 肝疾患研修室長/第一肝疾患室医長 是永匡紹</p>

個人情報の取扱いについて	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：村田礼人